

# 第5学年 国語科学習指導案

日時 平成27年9月18日(水) 5校時  
児童 男13名 女11名 計24名  
指導者 佐藤 聖子

- 1 単元名 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう  
教材名 「百年後のふるさとを守る」(光村図書 五年下)  
補助学習材 「手塚治虫」「杉原千畝物語」「マザーテレサ」 他

## <主となる指導事項>

- ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること 【C読むこと エ】
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。 【C読むこと オ】

## <付けたい力>

- ・人物の生き方や考え方をとらえ、自分の生き方について考えを広げたり深めたりしながら、自分の考えを明確にする力

## <単元を貫く言語活動>

自分の生き方について取り入れたいことを書いた、「人物紹介カード」を書く

- 2 単元について  
(1) 児童について

これまで学習した「なまえをつけてよ」では、登場人物の相互関係をとらえ、登場人物の会話や行動からそれぞれの人物の心情をとらえ、自分だったらどうするかという考えをもとに、感想を話す学習を行ってきた。「千年の釘にいどむ」では、「自分が読んだ本をポップにして推薦する」ことを位置づけ、「一番心に残ったことや感動したことを中心に短い文で表現するキャッチコピー」と「読者に興味をもってもらいたいような短い文章」とで構成した推薦文を書くことを、言語活動として取り入れた。子供たちは、「白鷹さん」の考えに共感しながら自分の考えをもち、本のポップを作ることを通して、意欲的に学ぶことができた。

日常においては、読書の好きな児童は多いものの、国語に対する意欲は低く、授業で発言する児童も限られている。想像力豊かな子が自分なりの言葉で発言するが、全体の考えが深まるまでにはいたっていない。

国語科意識調査をみても、全体の前での発表に対する苦手意識をもっている児童が多いことが分かった。

今回、人物の生き方を通して、自分の生き方について考えるということは初めてである。そこで、本単元では、「人物紹介カード」の作成やグループでの交流等を通して、多様な友達の考えを聞き、自分の生き方に参考にしたい考えが明確になるようにしていきたい。

- (2) 教材について

本単元は、「浜口儀兵衛」という人物の人生を描いた伝記「百年後のふるさとを守る」を中心教材として学習し、その後児童個々がさまざまな伝記を読んで自分の考えをまとめ、発表するという構成となっている。児童にとっては、伝記を読解する初めての単元となる。

「百年後のふるさとを守る」は、「浜口儀兵衛」が、自ら村の崩壊を食い止めたいという強い思いから、全ての住民が堤防づくりにかかわるという方法を発案し、再生の道筋をつくった伝記である。実在した人物の行動や考え、筆者の評価に分けて書かれており、伝記の特色をはっきりととらえることができる。また、儀兵衛の生き方や考え方に触れることにより、これまでの体験や考え方とかかわらせながら、今後の自分の生き方に対する考えを広げたり深めたりするのにふさわしい学習材である。本教材と並行して個々が読み進める伝記は、儀兵衛と同様に人のために尽力した人物の伝記を取り上げる。学んだことを生かしながら、自分の生き方を考えていけるものとする。

- (3) 指導について

本単元を貫く言語活動として、「人物紹介カード」を位置づけた。人物紹介カードとは、友達に本の人物を紹介する方法のひとつで、構成要素は、「人物の行動とその理由」「人物の印象に残る言葉」「人物の生

き方・考え方」「自分の生き方」の4つである。人物の言動をもとに生き方・考え方をとらえ、自分の生き方と比べることを通して、自分の生き方についての考えを深めたり広げたりしながら、自分の考えを明確にする力をつけさせるのにふさわしい言語活動であると考ええる。

教材である「浜口儀兵衛」の紹介カードは、白い用紙を用い、並行読書で選んだ人物の紹介カードは、青色の用紙を用い、どちらの学習をしているのかが分かりやすくなるよう色分けをした。そして、二つの用紙を同じ形式にすることにより、教科書教材での学びが生かせるように考えた。

第1次の学習では、伝記から人物の生き方を学んだことを紹介したり、「人物紹介カード」を提示したりすることで、伝記というジャンルの本を読み進めていくという意欲をもたせ、学習の見通しをもたせる。

第2次では、伝記の構成を理解させ、「儀兵衛の行動や考え、印象に残る言葉、生き方考え方、生き方考え方に対する自分の考え」をまとめる学習を生かして、自分の選んだ人物について考え、交互に読み進めていく。

第3次では、できた紹介カードを交流し合うことを通して、友達の考えのよさを認め合いながら、様々な生き方に共感させ、自分の考えを広げたり深めたりしていけるようにしたい。

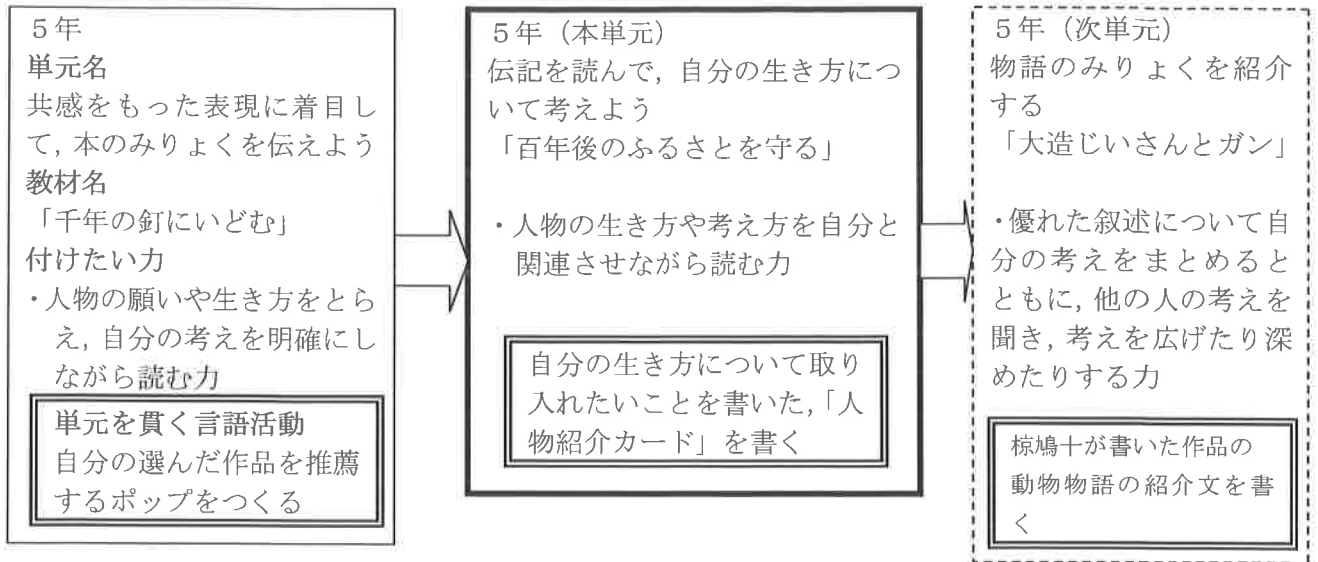
### 3 単元の指導目標

	指導目標
関心・意欲・態度	・伝記や、そこに描かれた人物の人生に興味をもち、感じたことや考えたことを進んで話し合ったり、まとめたりしようとしている。
読むこと	・登場人物の業績や心情から人物像をとらえ、登場人物の生き方と自分がかかわらせ、生き方や考え方に対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・文章には、いろいろな構成があることについて理解している。

### 4 単元の評価規準

	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・登場人物の行動や言葉、生き方や考え方に興味をもち、感じたことや考えたことを進んで話し合ったり、まとめたりしようとしている。
読む能力	・登場人物の行動や言葉、生き方や考え方をとらえ、自分の考えをまとめている。(エ) ・自分の考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	・伝記の特色について理解している。(イ(キ))

5 系統的な学習の流れ



6 単元構想（全10時間）

次	時間	ねらい ・ 主な学習活動	評価規準	指導上の留意点					
第1次	① A	単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。	【関】伝記や人物の生き方に関心を持ち、学習の見通しをもとうとしている。〔観察・記述〕	・夏休み読んだ伝記の本をもとにしながら、学校で用意していた伝記にかえたり、別な伝記を読んでもいいことを話す。 また、夏休みの宿題のワークシートや実態をもとに、3人ずつのグループ作りを行う。 ・ABワンセット方式で学習をすすめていく。 ・人物紹介カードを書くことに意欲をもたせ、学習をすすめていけるよう配慮する。					
		「百年後のふるさとを守る」を読み、伝記の特色をとらえ、自分の生き方に取り入れたいことを考えながらか読む。			【関】人物に対する自分の考えをもとうとしている。〔発言・ノート〕  【言】伝記の特色について理解している。〔観察〕	・物語のように書かれている部分、事実の説明や筆者の考えが書かれている部分の構成を確認する。			
		・「百年後のふるさとを守る」を読み、人物について感じたことを発表する。 ・文章構成を確かめ、伝記の特色を確認する。（物語のように書かれている部分・事実の説明や筆者の考えが書かれている部分など） ・並行読書の本の構成を確認する。					・目次などから、自分の選んだ本の構成も確かめ、筆者がその人物を紹介していることを確かめる。		
		・儀兵衛のしたことやその理由について考え、業績につながる行動を3つくらいにまとめる。						【読】人物の行動から、その人物がなぜそのようなことをしたのかをとらえている 〔発言・記述〕	・儀兵衛の行動や理由を人物紹介カード（白）に書かせる。 ・自分の選んだ本のカードと区別するために、教科書は白色で、選んだ本のカードは、青色とする。
		・自分の選んだ人物のしたことやその理由を考え、業績につながる行動を3つくらいにまとめる。							
・儀兵衛の行動や言葉から、人物の生き方や考え方（人物像）を考え、グループで交流し合い、まとめる。	【読】人物像について、考えたことを交流し合い、自分の考えをまとめている。〔発言・記述〕	・その人らしい言葉や行動から、人物の生き方や考え方を考えさせる。グループで交流することで、さらに考えを広げさせたい。							



第3	活用	⑥ B	・自分の選んだ本の人物の行動や言葉から人物の生き方や考え方を考え、グループで交流し合い、考えをまとめる。		・交流を通して、他の作品の人物にも興味をもたせる。
		⑦ A (本時)	・自分の生き方について取り入れたいことを考え、グループで交流し合い、考えをまとめる。	【読】自分の生き方について取り入れたいことを交流し合い、考えを広げたり深めたりしながら、自分の考えをまとめている。 [発言・記述]	・共通点、相違点を確認し、様々な感じ方があることを理解させ、そこから自分の考えを再度見つけ、まとめさせたい。
	⑧ B	・自分が選んだ本の人物の生き方から取り入れたいことを考え、グループで交流し合い、考えをまとめる。		・人物の生き方や考え方から取り入れたいことを交流し合い、自分の考えを広げさせる。	
	活用	⑨ B	自分が選んだ伝記の人物紹介カードを、交流し合う。 ・選んだ伝記の人物の紹介カード全体をまとめる。	【関】自分の考えを書きまとめようとしている。 [観察・記述]	・自分の選んだ人物のキャッチコピーを書いたり、イラストを描いたりして読む人を意識させながら、カードを完成させる。
⑩ B		・書いたカードを見合い、感想を交流する。 ・学習を振り返る。	【読】感じたことを交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 [発言・記述]	・ジャンルごとに、カードを紹介し、感想をもたせ、交流させる。	

7 本時の指導 ( 7 / 全 1 0 時 )

(1) ねらい

儀兵衛の生き方から、自分の生き方についての考えをまとめることができる。

(2) 展開

階段	主な学習活動 課題とまとめ 中心発問 ○児童の反応	指導上の留意点 ◇評価規準
つかむ 5分	1 前時の想起をする。 ・儀兵衛の生き方・考え方について、前時学習したことを確認する。  2 学習課題を確認する。 儀兵衛さんの生き方や考え方を自分の生き方に取り入れよう。	・前時学習した内容の掲示をもとに話させる。
ふかめる 37分	3 学習課題を解決する。 儀兵衛さんの生き方や考え方から、自分の生き方について取り入れたいなあとしたことについて、グループで交流し、考えを深めましょう。  (1) 話し合いの手順を確認する。 (2) グループごとに交流し合う。 ① 順番に自分の考えを話す。 ② 出された考えを似ている考えと、違う考えに分ける。 ③ (友達の考えを聞いての) 感想を話す。	・自分の考えを友達と交流し合うことで、更に考えを明確にさせようという目的を確認する。  ・「話し合いの進め方」を掲示し、役割分担やおおよその時間を確認する。 ・前時に自分の考えを付箋 (2枚) に書かせておき、それをもとに発表させる。 ・3人グループで、付箋を分けたりまとめたりして、感想を交流させる。



9 モデル文（人物紹介カード）

人物のキャッチコピー

自分の理想にむかって、ほんとうのしあわせをさがしつづけた宮沢賢治

本の題名「宮沢 賢治」

作者（西本鶏介）・出版社名（ポプラ社）

☆人物のしたこと（なぜそのようなことをしたのか）3つくらい

- ・ 農学校の先生になった。（様々なことを話して聞かせた）
- ・ 童話を書いた。（法華経の教えを広めるため）
- ・ 農民のための勉強会をひらいた。（たくさんの作物がとれるように）

人物のイラスト

☆その人らしい言葉

- ・「いきもののいのちをうばうぐらいなら、ぼくが死んだ方がいい」
- ・「読みたい人は、知らせてください。すぐ本をおくりませう。読んでおもしろければ、お金をはらってください。」
- ・「雨ニモマケズ」の詩の言葉

☆その人の生き方・考え方（人物像）

- ・ いのちあるすべてのものを愛するという、やさしい人
- ・ 他人のためにつくそうとした、心の大きい人
- ・ 自分の理想をもって生きた人

☆自分の生き方に取り入れたいこと（自分の生き方と比べて・こうありたいと思うこと）

私は、賢治さんがいのちあるすべてのものを愛したところから、だれにたいしてもやさしくなりたいと思いました。

今までは、人のために何かをしようとか、つくそうという考えはあまりなかったけれど、賢治さんのように周りの人のことを考えるということは大切なことだと思いました。私も、少しでも他人のしあわせを考えて生きていける人になりたいと思いました。

年 名前

## 10 補助学習材

番号	本の題名	著者	出版社	ジャンル
1	ガリレオ・ガリレイ	マイケル・ホワイト	ポプラ社	科学
2	伊達政宗	西本鶏介	ミネルウァ書房	歴史
3	アンネフランク	加藤純子	ポプラ社	思想
4	織田信長	吉本直志郎	ポプラ社	歴史
5	ヘレン・ケラー	砂田 弘	ポプラ社	思想
6	一休	木暮正夫	ポプラ社	思想
7	豊臣秀吉	吉本直志郎	ポプラ社	歴史
8	ライト兄弟	早野美智代	ポプラ社	科学
9	ベートーベン	加藤純子	ポプラ社	科学
10	福沢諭吉	浜野卓也	ポプラ社	思想
11	手塚治虫	国松俊英	ポプラ社	芸術
12	野口英世	浜野卓也	ポプラ社	医学
13	竹中半兵衛	水谷	ポプラ社	歴史
14	ヘレンケラー	フィオナマ クドナルド	ポプラ社	思想
15	二宮金次郎	木暮正夫	ポプラ社	歴史
16	キュリー夫人	伊藤 信	ポプラ社	科学
17	坂本龍馬	横山充男	ポプラ社	歴史
18	エジソン	桜井信夫	ポプラ社	科学
19	マザーテレサ	柳や恵子	ポプラ社	思想
20	宮沢賢治	西本鶏介	ポプラ社	芸術
21	徳川家康	西本鶏介	ポプラ社	歴史
22	ナイチンゲール	早野美智代	ポプラ社	医学
23	手塚治虫	国松俊英	ポプラ社	芸術
24	キリスト	谷信介	ポプラ社	宗教